

# 月曜日が楽しみになる職場となるよう、 皆が活躍してほしい。

トップランナーから**未来**へ

国土交通省 中部地方整備局  
道路部 道路調査官

永田 耕之



永田 耕之(ながた こうし)  
昭和60年国土交通省 中部地方整備局入局。  
国土交通省大臣官房技術調査課課長補佐、北勢国道事務所長、名四国道事務所長等を経て現職。令和5年3月をもって定年退職。  
趣味は、ランニングと家庭菜園。

## 仕事哲学を教えてください。

- ・何を目的に
- ・何を成果とし
- ・何を成功基準とするか

を意識して仕事に取り組んできました。  
入局時から「自分が与えられた仕事って何を目的にするのかな」というのは常に意識してきました。

## 成長を感じたタイミングは？

私たちは2～3年で異動がありますが、その2年・3年経ったときに必ずそれまでの仕事をまとめたり、振り返ったりします。その度に、いろんな反省をし、自らの成長を感じ、成長には何が必要かを知るきっかけにもなりました。異動で仕事の内容が変わること、住居が変わることは確かに大変ですが、「自分の成長」という視点で考えると、よいきっかけだと思えます。

## 影響を与えてくれた人物や言葉などを教えてください。

20代の頃の上司から、「上司の『わかった』は鶏呑みにしないでね。上司に何回も確認をとって、オウム返しがあって初めて上司が理解したと判断しなさい」と。要は、仕事における「ダメ押しが大切」ということ。また、別の上司からは「自分の仕事だけ見てもダメだよ。隣の係、隣の課、何やってる？組織を俯瞰して見よう」と口酸っぱく言われました。管理職になってから、これらの実践が特に役に立ったと思います。

## 中部地方整備局はどんな組織ですか？

中部地方整備局、国土交通省は、「国民のために、いかに早く、よりよいサービスを提供するか」「これをいかにカタチにするか」ということに対して、柔軟な組織だと思います。

## この仕事の魅力を教えてください。

### ▶国土交通省の魅力

国土交通省の仕事、土木という仕事は、地域づくりに対する自分の想いをカタチにできる仕事の一つだと思います。しかも地域の方々と、事業の完成と一緒に喜び合える、本当にやりがいのある仕事です。

### ▶中部地方整備局の魅力

中部地域は“ものづくり”で日本の経済を支えていますよね。この企業活動を縁の下で支えているのが、社会資本整備だと思っています。その社会資本整備を実践できることが魅力だと感じています。

### ▶道路事業の魅力

地図に残る仕事、もっと先をいった地図をつくる仕事もできる、夢のある仕事だなあと。特に、道路の計画をつくることは、まさしくその地域のことを考えて、どのような地域にしておくのか。そのためにどのような道路計画をつくるのか。ということになります。38年も勤めてこれば、夢ばかりじゃなくて大変なこともありましたけど(笑)



## 国家公務員として誇れる部分を教えてください。

中部地方整備局では、山岳地における土木も、都市土木も、最先端の技術で携わることができます。時には、日本1・2位を争う大規模な事業に携わることができるともいえない。そこが、国家公務員ならではの醍醐味。こういった経験を通じて、土木技術者として相当なネラリストとなるのが可能かなと思います。

## 最近の若手職員の印象を教えてください。

優秀で器用な方が多いと思います。一方で、「もう一步踏み込めばもっといいものができるの」と思うことがあります。「もうちょっと踏み込んで良くしよう」という気持ちが少ないのかな。だからこそ、一步踏み込む若者たちが増えてくれることを望んでいます。

## 若手職員やこれからの担う若者に期待することはありますか？

例えば、事務所長・社長になったつもりで、自らの業務をマネジメントできれば、もっとやりがいを感じるのでは？ もっとやりたいことも広がるのでは？ と思います。

また、現場を見て“現場で何が起っていて、何が課題で、どう解決するか”自分の頭で考えることを習慣づけてほしいです。

そして、一生懸命考えて、変えようとするのであれば、決して悪い方向には変わらないと思います。だから、自信を持ってやっていいと思いますよ。これを通じて中部地方整備局にとって大切な“人材”となってほしいです。

## どんな人材がこの職場にフィットすると思いますか？

この地域に、地域づくりにおける想いのある人はこの職場にフィットすると思います。ぜひ、想いのある人にこの職場で頑張ってもらいたいです。

## 学生時代にこんな経験をした方がよいと思うことは？

私自身、社会人になってから色々な地域を見る機会があり、もっと早く見ておけばよかったなと思いました。特に海外。ヨーロッパは社会資本の整備がとても早く、“その時代にこんなすごいモノをつくっていた”のを見ただけでも違うと思います。もし可能だったら、色々な地域を見るということをしていただければと思います。

## 充実した仕事でしたか？この仕事を選んでよかったですか？

間違いなくよかったです。“地域への働き掛け”に対する反応があることはやりがいにつながります。自分の地域に対する【想い】を実現できる仕事としては、自分の中では最高の仕事だなあと感じています。

## これからの中部地方を担う世代にエールをお願いします。

“ものづくりの中部”を社会資本整備でしっかりと支える人材となっていくことを期待します。ぜひ、中部を支える人材・財産になってください。

～さざに～  
自分は決してトップランナーではないと思います。強いて言えば、自分の周りにトップランナーがたくさんいた。みんなと一緒に歩いてきているだけなんです。ともに歩む、“仲間”を大切にしてほしいですね。

